

## 「ジオって何だろう？」

（文責 下田市立白浜小学校 長谷川瞳）

本学級では、道路で見かけた「GEO」の標識について、子どもたちが疑問をもったことから、総合的な学習の時間がスタートしました。

まず、「ジオサイト」と呼ばれる場所について調べていけば、何か分かるのではないかという考えから、子どもたちは伊豆半島のジオサイトを一つ一つ調べていきました。その中で、自然と何かつながりがあるものなのではないか、というようなことを感覚的につかんでいきました。

しかし、「どうして噴火が起きるんだろう？」など、新たに生まれた疑問も多くあり、ジオガイドさんを学校にお呼びして、当初からの「ジオって何だろう？」という疑問をはじめ、子どもたちの質問に答えていただきました。

出前授業では、3年生の子どもたちにも分かりやすいように、実験や実物をたくさん用意していただき、丁寧に教えてくださいました。噴火の様子を再現したメントスとコーラの実験は、中でも特に印象的だったようです。

学習のまとめでは、白浜・下田をこれまで以上に自慢に思えるようになった、学習したことを家族に教えてあげられて嬉しかった、ジオのことをもっと詳しく知りたくなった、という感想が多くあがりました。ジオガイドさんによる出前授業があったことで、ジオについての理解が深まり、故郷を誇りに思う気持ちが育ちました。



砂浜の色の違いを観察



柱状節理を作ってみよう



身近な物で火山噴火実験

## 函南町立東中学校 ジオパーク学習

(文責 函南町立東中学校 齋藤秀人)

令和5年度の東中学校1年生は、総合的な学習の時間で、「自分たちが暮らす伊豆半島の成り立ちを知り、地域の自然の素晴らしさを感じよう。」をテーマに、5月11日(木)出前授業、12日(金)フィールドワークを実施しました。出前授業では、伊豆半島形成の特徴、スコリア、柱状節理について学びました。質疑では、生徒の質問に対し時間をオーバーしていたにもかかわらず、熱心に応答していただきました。生徒は、講義や質疑を通して知識がより深く広がり、新たな疑問や実際に確かめたいことなどを「自己課題」として設定することができました。

翌日、フィールドワークで訪れたジオリアでは、河川が地形を形成する実験を見て驚き、旭滝では柱状節理の断面をジオガイドさんの説明を受けながら見て、その珍しさと自然の凄さを多くの生徒が実感していました。そして、午後に訪れた船原スコリア丘では、採石場の方の説明を熱心に聞いた後、はるか上まで登って噴火活動の痕跡を見下ろしながら、伊豆半島が成り立つ経緯を想像する生徒やスケッチする生徒、火山活動を学んだ記念にと採石場の石を持ち帰る生徒もいました。まとめの発表では、多くの生徒が「自分たちが育った郷土の自然がいかに素晴らしいものであるか」に触れて発表しました。

最後に、生徒たちに有意義な学習の場と大きな感動を味わう機会を与えてくださったジオパーク推進部の皆様、立岩石材興業様に感謝申し上げます報告とさせていただきます。



河川のはたらきを模型で再現



柱状節理を、聞いて、見て



火山の赤い山肌に驚愕

※ジオ学習新規導入校講師無償派遣制度をご利用いただきました

## 沼津商業高校 地域研究フィールドワーク

(文責 静岡県立沼津商業高等学校 山本壮流)

4月30日に本校の3年生地域研究講座履修生徒4名、2年生観光コミュニケーションコースの生徒2名が伊豆半島ジオパークの概要やジオサイトを知るためにフィールドワークを実施した。地域研究講座では、毎年、伊豆半島ジオパークのことを多くの方々に認知してもらうために高校生ができることを主体的に考え、認知度向上に向けて取り組んでいる。

今回のフィールドワークでは、ジオガイド協会のガイドも受けながらジオサイトを周る行程であった。ガイドの丁寧な説明により、伊豆半島ジオパークの魅力を更に知ることができる貴重な機会となった。

フィールドワークを通して、生徒からは「思っていたよりも魅力的な場所だということが分かった。」「やはり自分の目で見ると調べるのは全然違うことを改めて感じた。」その上で、今後やってみたいこととして、私たち若い世代が伊豆半島ジオパークの魅力を発信したいといった声やSNSを活用し、若者の心を掴むような取り組みをしたい、今後もこの地域に住み続ける人間として魅力を全国に発信し、移住者を増やし、次の世代に引き継げるように頑張るべく認知度向上に努めていきたいといった前向きな意見があった。今後は、伊豆半島ジオパークの魅力を多くの人に知ってもらうために取り組むべき課題と向き合っていきたい。



ジオリアで半島全体の特異性を学ぶ



ジオから歴史や環境を考える



海底火山の痕跡を間近で観察

### ジオリアで長岡中学校のジオパークポスター展示を実施

4月20日(木)から6月20日(火)の期間、伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」で、伊豆の国市立長岡中学校の生徒が制作したジオポスター作品を展示しています。長岡中学校では、昨年度に1年生116名が総合的な学習や理科の時間に地域やジオパークについて学習し、1年間の学習の総まとめとしてポスターを制作・発表しました。伊豆半島ジオパークのホームページ内でも作品を紹介していますが、ジオリアでは校内表彰で選ばれた16作品を、5～6作品ずつ3期間に分けて展示しておりますので、ぜひ実物をご覧ください。



### 《編集後記》

今年度も引き続き担当させていただきます。ジオパークは地球の歴史や自然現象を通じた学びを提供する場でもあり、学習を通じて地域の魅力を発見してもらうお手伝いをしています。今年度も皆さまと共に学び、伊豆半島を取り巻く環境の変化に対応しながら、この教育通信を通じてジオパークの魅力を広く伝えていきたいと思っております。「自分たちもジオを取り扱っているので紹介してほしい」、「地域を知るためにジオの切り口を使ってみよう」など、ご要望ありましたらぜひ事務局にご連絡ください。

(事務局 杉森)